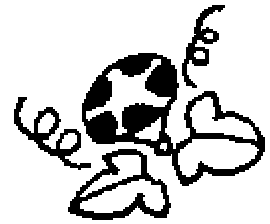




## りんご病 (伝染性紅斑)

Erythema Infectiosum



**【症状】** ほっぺがりんごのように赤くなる(両頬)ので、**りんご病**と呼ばれています。太ももや腕にも、赤い斑点やまだら模様ができます(網目状またはレース状に発疹がでます)。頬はほてって、かゆくなることもあります。皮膚があたたかいと、かゆみが強くなります。熱は、出たとしても微熱程度。発疹も1~2週間でおさまります。大人は、熱や、強い関節痛・頭痛がでがちです。

**【原因と感染経路】** りんご病は、ヒト・パルボウイルスB19という名前のウイルスによる感染症です。感染者からの飛沫による感染(つばや痰に含まれるウイルスを吸い込むことで感染)です。潜伏期間(症状の出ない期間)は1~2週間です。感染力があるのは、**発疹が出る前1週間**くらいの間です。**つまり、頬が赤くなったところには他人にはうつりません。**

**【治療】** 特別な治療薬はありません。自然に治るのを待ちます。かゆみ止めの薬を使うこともあります。そのまま、約1週間で赤みがひいていきます。

**【予防】** 手洗い

**【登校はどうするの?】** 症状がでた時点ですでに人にはうつりませんので、皮膚の症状だけで学校を休む必要はありません。でも、頬があまりにかゆいときや、だるいときなどは、お休みした方がいいかもしれません。

### **【かかった時に家庭で気をつけること】**

**生活と食事** : ふだんどおりに生活してください。

**お風呂** : 入ってかまいませんが、暖まると赤みとかゆみが強くなりますので、ほどほどに。

**運動** : 普通でいいのですが、汗をかいたり、日光にあたると赤みとかゆみが強くなります。

**その他に** 妊娠12~20週に感染すると、胎児が**胎児水腫(たいじすいしゅ)**という重い貧血になることがあります。妊娠初期なら、流産することもあります。お子さんが発症し、妊娠中であれば主治医にご相談ください。ただ、多くの方が子供のころに免疫を獲得しており、大人になってからかかる人は少ないようです。

